琉球新報
2011(平成23)年11月14日月曜日 22面【社会】掲載

読んで学べるNIE

全国大会へ成功誓う

糸満 豊かな海づくりフェスタ

大会キャラクター「アバサンゴ」のお披露目などがあった豊かな海づくりフェスタ＝13日、糸満市西崎の県水産公社地方卸売市場

【糸満】2012年秋に糸満市で開催される第32回全国豊かな海づくり大会（主催・同大会県実行委員会）に向けたプレイベント「おきなわ豊かな海づくりフェスタin糸満」は最終日の13日、同市の県水産公社地方卸売市場で式典などを開催した。来年の大会テーマ「まもろうよ きせきのほしのあおいうみ」や、大会キャラクターとしてアバサー（ハリセンボン）とサンゴを合わせた「アバサンゴ」がお披露目された。

仲井真弘多知事は「この機会に、海の環境保全の大切さや沖縄の水産業への理解を深めてほしい」と主催者あいさつ。大会テーマに選ばれた浦添小6年の梁雄滉君、「アバサンゴ」を考案した糸永泰子さんら、入賞者の表彰式もあった。

来年大会と同時開催の第17回南部豊かな海づくり大会の図画・作文コンクール入賞者を代表し、大会委員長賞の渡嘉敷村立阿波連小4年の鈴久名太陽君が「魚たちのありがとう」と題した作文を読み上げた。

会場周辺は大勢の人でにぎわい、来年の大会成功に向け、ハーレー舟の競漕の後、ハマフエフキ（タマン）が放流された。